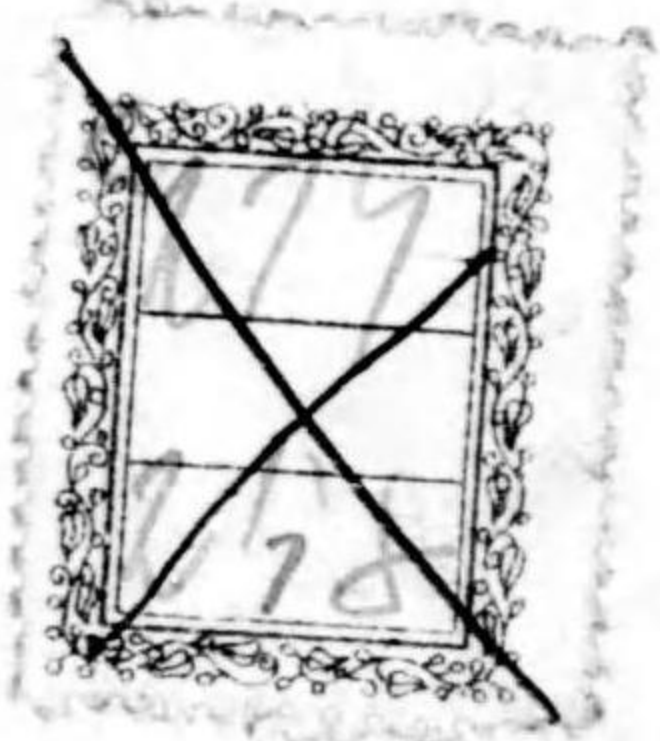


特106

699

自動車取締規則



始





特 106  
699

# ● 自動車取締規則

(明治四十年二月警視廳令第九號、四十五年七月十六日警視廳令第二十五號)



## 自動車取締規則

第一章 總則

第二章 營業者ニ對スル規定

第三章 營業用自動車ノ車掌、運轉手ニ對スル規定

第四章 乗客ニ對スル規定

第五章 家用自動車ニ對スル規定

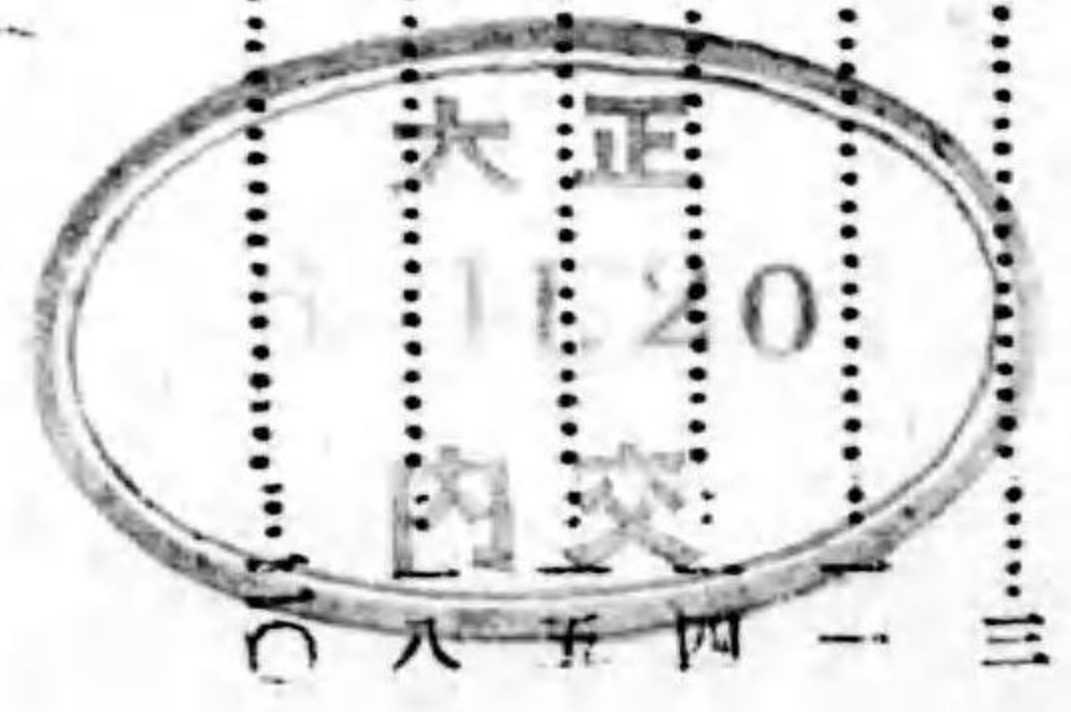
第六章 罰則

第七章 附則

第一章 總則

第一條 本則ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ原動力機ヲ用フル自動車ニ適用ス

第二條 本則ニ依リ警視廳ニ差出スヘキ願届書ハ營業者ニ在リテハ營業所所轄警察官署營業者





ニ非サル者ニ在リテハ其ノ住所地所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第三條 未成年者、禁治産者ノ爲ス願届書ニハ法定代理人ノ連署、準禁治産者、妻ノ爲ス願届書ニハ保佐人又ハ夫ノ連署ヲ要ス但シ民法第十七條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 自動車ノ速度ハ市部ニ在リテハ一時間十哩、郡部ニ在リテハ一時間十二哩ヲ超過スヘカラス但シ往來雜沓ノ場合ニ於テハ歩行者ト同一速度ヲ以テ徐行スヘシ

第四條ノ二 試運轉其ノ他ノ目的ヲ以テ道路ニ於テ一時自動車ノ運轉ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ運轉從事者連署ノ上住所地所轄警察官署ニ願出認可ヲ受ケ車輛前部及後部略易キ所ニ同署付與ノ標板ヲ揭示スヘシ此ノ場合ニ於テ車輛ノ運轉ヲ爲シ得ルハ警視廳ノ免許ヲ受ケタル運轉手若ハ運轉者ニ限ル

一、出願者ノ住所、氏名但シ法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所々在地及代表者(代表者數人アリテ責任ヲ負フヘキ者一人支店ニ在リテハ支店ヲ代表スヘキ者一人)ノ住所、氏名

二、車輛ノ重量、寸法及箇數

三、運轉ノ目的

四、運轉ノ日時及道筋

五、運轉從事者ノ住所、氏名、生年月日

前項ニ依リ認可ヲ受ケタル者ニ非サレハ本條ノ運轉ニ從事スルコトヲ得ス  
標板ハ運轉ヲ爲スコトヲ得ル日時ヲ經過スルトキハ遲滞ナク之ヲ返納スヘシ

第四條ノ三 前條ノ運轉ニ從事スル者ハ運轉セムトスル車輛カ左ノ各號ヲ具備シ其ノ他運轉上安全ナル状態ニ在ルコトニ付其ノ責ニ任ス必要ナル注意ヲ怠リ車輛カ之ニ適合セサルコトヲ知ラサリシトキ亦同シ

一、第七條第一項第二號第六號乃至第九號ノ事項

二、速度計

三、適當ナル音響器

四、車輛ハ外觀醜惡ナラサルモノタルヘキコト

## 第二章 營業者ニ對スル規定

第五條 自動車ニ依リ運輸ノ業ヲ營マムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ警視廳ニ出願許可ヲ受クヘシ  
第二號、第四號乃至第十號及第十二號ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一、出願者ノ族籍、住所、氏名、生年月日但シ法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地、定



款寫及代表者(代表者數人アルトキハ主トシテ責任ヲ負フヘキ者)ノ住所、氏名、生年月日

二、營業ノ種別

三、營業所ノ所在地

四、營業線路ノ圖面(道路幅員記入)

五、停車場ノ位置

六、營業時間

七、客車ニ在リテハ乗客ノ定員及賃錢額、貨車ニ在リテハ貨物ノ積載定量

八、車輛ノ重量、箇數、構造、圖面(寸法記入)

九、動力ノ種類

十、原動力機ノ名稱、構造、圖面(寸法記入)、馬力及其ノ他ノ重要事項

十一、製造者ノ氏名、製造年月日、古物ナレハ尙其ノ經歷

十二、制御機、制動機、音響器、其ノ他附屬機械器具ノ構造及圖面(寸法記入)

第六條 自動車ノ營業線路ハ六間以上(歩道ノ設ケアル道路ニ在リテハ車道ノ幅員、其ノ幅員ヲ有スルヲ要ス但シ土地ノ狀況又ハ車輛ノ構造ニ依リ本條ノ制限ニ拘ハラス場所ヲ指定シ特ニ

許可シ又許可セサルコトアルヘシ

第七條 車輛ニハ左ノ各號ヲ具備スルヲ要ス

一 車輛ハ護謨製タルヘキコト但シ貨車ニ在リテハ土地ノ狀況又ハ車輛ノ構造ニ依リ護謨製タラサルコトヲ得

二 自動車ニハ二箇ノ制動機ヲ備ヘ一ハ必ス車軸又ハ車輪ニ固著シタル「ドラム」ニ作用セシメ直ニ運轉ヲ停止シ得ヘキモノ他ノ一ハ其ノ機構各部ノ逆働ヲ阻止スヘキ裝置ヲ有スルモノニシテ各自動的ニ原動力機ヲ停止シ且速度ヲ調節シ得ヘキ裝置ヲ有スル者タルヘキコト

三 五輪ヲ有スル自動車ニ在リテハ制動機ノ一ハ後車ニ裝置スヘキコト

四 最高速度計ヲ備ヘ仍蒸氣力ヲ用キルモノニ在リテハ壓力計、水準計ヲ備ヘ運轉手ノ賭易キ箇所ニ裝置スヘキコト

五 蒸氣、瓦斯、石油其ノ他爆發性又又ハ可燃性ノ物品ヲ容ルヘキ管、匱、場所及電線ハ堅牢ニ造リ毫モ漏洩又ハ危險ノ虞ナキモノタルヘキコト

六 機械、器具ハ甚シキ騒響、震動ヲ發セサルモノタルヘキコト

七 短半徑ノ曲線ヲ以テ容易ニ方向ヲ變シ得ル爲「デフエレンシャルギア」及「ステーリ



シグギア」ヲ装置スヘキコト

- 八 車輛ノ重量七百七十封度以上ノ自動車ハ逆行シ得ヘキ装置ヲ有スルモノタルヘキコト
  - 九 明ニ認メ得ヘキ煤煙、蒸氣及多量ノ有臭、有害ノ瓦斯ヲ發散セサルモノタルヘキコト
  - 十 車輛ニハ適當ノ音響器及車掌、運轉手間ニ通スル信號器ヲ備フヘキコト但シ貨車ニ在リテハ信號器ヲ備フルヲ要セス
  - 十一 車輛前面ニハ少クモ二箇ノ「ヘッドライト」ヲ備ヘ車輛ノ全幅ヲ示ス様之ヲ取附ケ後面ニハ第十八條ノ車體外部ノ車輛番號ヲ照射シ且夜中三十間以上ノ距離ヨリ車輛番號ヲ明瞭ニ認メ得ヘキ光力ヲ有スル燈火ヲ設備スルコト
  - 十二 車體ハ全長外法十八尺以内、幅外法七尺以内タルヘキコト
  - 十三 客座ハ一人一尺二寸以上タルヘキコト
  - 十四 乗客ノ昇降口ニハ堅牢ナル踏段ヲ設クヘキコト
- 前項各號ノ外必要アリト認メタルトキハ特ニ危險豫防ノ装置ヲ命スルコトアルヘシ
- 第八條ノ一 車體及之ニ附屬スル機械、器具ハ警視廳ノ検査ニ合格シ其ノ検査證ヲ有スルモノニ非サレハ使用スルコトヲ得ス

検査證ハ車内賭易キ箇所ニ之ヲ標示スヘシ

第八條ノ二 検査證ヲ下附シアル車輛ニ對シ第七條第二項ニ依リ危險豫防ノ装置ヲ命シタルトキハ其ノ装置ノ完了スル迄検査證ノ返納ヲ命スルコトアルヘシ

第八條ノ三 第八條ノ一第一項ニ依リ車體検査ヲ行ハムトスルトキハ警視廳ハ日限ヲ指定シ呼出狀ヲ發スヘシ

呼出ヲ受ケ警視廳ニ往復ノ途上ニ於テ車輛ノ運轉ヲ爲ス者ハ呼出狀ヲ携帯スルヲ要ス第二項ニ從ヒ順路ニ依リ警視廳ニ往復スル間ノ車輛ハ検査證ナクシテ之ヲ運轉スルコトヲ得但第十條ノ車輛番號ヲ標示スルコトヲ要ス

第九條 車體及之ニ附屬スル機械、器具ハ毎年五月一回警視廳ノ検査ヲ受クヘシ但シ必要アリト認メタルトキハ臨時検査ヲ施行スルコトアルヘシ

前項ノ検査ニ合格セサルモノハ指定ノ日時内ニ検査證ヲ警視廳ニ返納スヘシ

第十條 検査ノ際ハ検査官吏ノ指示ニ從フヘシ  
検査官吏ニ於テ必要アリト認メタルトキハ機械、器具ヲ分解スルコトアルヘシ  
検査ニ因リ生シタル費用及損害ハ營業者ノ負擔トス



第十一條 車輛ハ常ニ安全且清潔ニ保持シ車體及之ニ附屬スル機械、器具ニシテ破損若ハ汚漬シタルモノ又ハ機械、器具ヲ取外シタル儘使用スヘカラス

第十二條 客車ニハ一車毎ニ車掌、運轉手各一名以上ヲ置クヘシ但シ車輛ノ構造ニ依リ警視廳ノ許可ヲ受ケ運轉手ヲシテ車掌ノ職務ヲ兼ネシムルコトヲ得

第十三條 危險豫防上必要アリト認メタルトキハ特ニ信號人ノ配置ヲ命シ又ハ營業線路ノ變更若ハ廢止ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條 車掌、運轉手ヲ雇入レムトスルトキハ其ノ族籍、住所、氏名、生年月日ヲ具シ(運手ニ在リテハ履歷書ヲ添ヘ)警視廳ニ願出免許證ヲ受クヘシ

運轉手ニ對シテハ特ニ試験ヲ行フモノトス

第十四條ノ二 實地試験ノ爲雇主ノ自動車ヲ運轉シテ警視廳ニ出頭セシムルノ要アルトキハ警視廳ハ日限ヲ指定シ呼出狀ヲ發スヘシ

呼出狀ヲ受ケ警視廳ニ往復ノ途上ニ於テハ呼出狀ヲ携帶スルコトヲ要ス前二項ニ從ヒ順路ニ依リ警視廳ニ往復スル間ニ於テ車輛ヲ運轉スル者ハ免許證ナクシテ之ヲ爲スコトヲ得

第十五條 車掌、運轉手及信號人ハ滿二十年以上ノ者タルコトヲ要ス

第十六條 車掌、運轉手ノ服裝ハ營業者ニ於テ之ヲ定メ警視廳ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十七條 客車ニハ賃錢表及車掌、運轉手ノ氏名標札ヲ車内賭易キ箇所ニ掲ケ又行先ヲ示スヘキ標札ヲ車輛ノ前後ニ掲クヘシ

第十八條 車輛ニハ警視廳ニ於テ指示スル車輛番號ヲ車體外部賭易キ箇所ニ標示スヘシ但シ客車ニ在リテハ仍車内賭易キ箇所ニ標示スヘシ

車輛ノ番號ハ左ノ寸法及雛形ニ從ヒ黒地ニ白色ノ亞刺比亞數字ヲ以テ車體ニ之ヲ描クカ又ハ方形ノ標板ニ之ヲ描キ車體ニ固著セシムヘシ

一 前面番號ハ文字ノ太サ六分幅「1」字ヲ除ク外二寸四分、高サ三寸

二 後面番號ハ文字ノ太サ八分幅「1」字ヲ除ク外三寸二分高サ四寸

前項ノ制限ニ適合セサル車輛番號ヲ裝置セントスルトキハ圖面及仕様書ヲ添ヘ警視廳ニ届出認可ヲ受クヘシ

第十九條 名義ノ如何ニ拘ハラズ定額以外ノ賃錢ヲ請求シ又ハ請求セシムヘカラス

第二十條 左ノ場合ニ於テハ三日以内ニ警視廳ニ届出ヘシ但シ第三號ノ場合ハ檢査證又ハ免許



證ノ書替若ハ再下付ヲ受ケ第四號、第五號ノ場合ハ検査證又ハ免許證ヲ返納シ第六號ノ場合ハ戸主又ハ家族ヨリ其ノ手續ヲ爲スヘシ

一 休業又ハ廢業シタルトキ

二 第五條第一號又ハ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキ

三 車輛ノ検査證又ハ車掌、運轉手ノ免許證ヲ亡失、毀損シ若ハ其ノ證面記載ノ事項ニ異動ヲ生シ又ハ其ノ文字不分明ト爲リタルトキ

四 車輛ヲ讓渡シ又ハ其ノ使用ヲ廢止シタルトキ

五、車掌、運轉手ノ解雇死亡又ハ所在不明ト爲リタルトキ

六 營業者死亡シ又ハ所在不明ト爲リタルトキ

第二十一條 公安、衛生其ノ他取締上必要アリト認め特ニ命令又ハ指示シタル事項ハ之ヲ遵守スヘシ

第二十二條 車掌、運轉手本則ニ違背シ又ハ就業上不適當ナリト認めタルトキハ免許ヲ取消スコトアルヘシ

前項ニ依リ免許ヲ取消サレタルトキハ速ニ免許證ヲ警視廳ニ返納スヘシ

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ營業ヲ停止シ又ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一 正當ノ事由ナクシテ許可ノ日ヨリ百八十日以内ニ營業ヲ開始セサルトキ

二 休業九十日以上ニ亘リタルトキ

三 本則又ハ本則ニ依リ發シタル命令ニ違背シタルトキ

四 公安ヲ害スルノ虞アリト認めタルトキ

前項ニ依リ許可ヲ取消サレタルトキハ速ニ車輛ノ検査證及車掌、運轉手ノ免許證ヲ警視廳ニ返納スヘシ

### 第三章 營業用自動車ノ車掌、運轉手ニ對スル規定

第二十四條 第十四條ニ從ヒ免許證ヲ受ケタル者ニ非サレハ車掌、運轉手トシテ其ノ業ニ従事スルコトヲ得ス

車掌、運轉手ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一 就業中ハ制服ヲ著用スヘキコト但シ破損又ハ汚漬シタルモノヲ使用スヘカラス

二 車掌、運轉手ノ免許證ヲ有セサル者ニ自己ノ職務ヲ委託スヘカラサルコト

三 就業中ハ免許證ヲ携帯シ警察官吏ノ求メアルトキハ之ヲ示スヘキコト



- 四 就業中喫煙スヘカラサルコト
- 五 乗客並公衆ニ對シテハ懇切ニ接遇シ悔慢ノ言行ヲ爲スヘカラサルコト
- 六 老幼又ハ婦女乗降ノ際ハ特ニ保護スヘキコト
- 七 乗客降車ノ際ハ車内遺留品ノ有無ニ注意スヘキコト
- 八 公衆ニ對シ乗車ヲ勸誘シ又ハ定額以外ノ賃錢ヲ受クヘカラサルコト
- 九 警察官吏ニ於テ舉手其ノ他ノ方法ヲ以テ停車ヲ命シタルトキハ直ニ停車スヘキコト
- 十 正當ノ理由ナクシテ發車ヲ拒ムヘカラサルコト
- 十一 定員外ノ客ヲ乗載スヘカラサルコト
- 十二 乗客ノ乗り終リ又ハ降り終リタル後ニ非サレハ發車ノ信號ヲ爲シ又ハ發車スヘカラサルコト
- 十三 客車ニハ臭氣ヲ發散シ又ハ汚染ノ虞アル物品ヲ搭載スヘカラサルコト
- 十四 夜間ハ制規ノ燈火ヲ點シ規定ノ光力ヲ保持セシムルコト
- 十五 第二十六條乃至第二十九條ニ違背シタル者アリタルトキハ之ニ注意ヲ與ヘ尙肯セサルトキハ乗車ヲ拒絕スヘキコト其ノ職務上ニ於ケル正當ノ要求ニ應セサル者アルトキ亦同シ

十六 客席以外ニ客ヲ乘ラシメサルコト

### 第二十五條 運轉手ハ前條ノ外左ノ事項ヲ遵守スヘシ

- 一 制限速度ヲ超過スヘカラサルコト
- 二 就業中ハ運轉手臺ヲ離ルヘカラサルコト但シ已ムコトヲ得ス其ノ位置ヲ離ル、トキハ不慮ノ災害不時ノ發車及發動機ノ音響ヲ防クヘキ必要ナル注意ヲ爲スヘシ
- 三 他車ト並行シ又ハ競走スヘカラサルコト
- 四 自動車二輛以上連續行進スル時ハ後車ハ前車ニ對シテ三十間以上ノ距離ヲ保ツヘキコト
- 五 往來雜沓ノ場所又ハ街角、橋上、坂路等ヲ通過スルトキハ絶ヘス音響器ヲ鳴ラシ徐行スヘキコト
- 六 街角通過ノ際ハ右ハ大廻リヲ爲シ左ハ小廻リヲ爲スヘキコト
- 七 街角、橋上其ノ他往來ノ妨害ト爲ルヘキ場所ニ停車スヘカラサルコト
- 八 許可ヲ受ケサル線路ヲ行進スヘカラサルコト
- 九 出火場其ノ他群集ノ場所ヲ行進スヘカラサルコト
- 十 軍隊ニ對シテハ右側ニ其ノ他ハ左側ニ避クヘキコト



十一 前車ニ先チ後車ノ進行セムトスルトキハ音響器ヲ鳴ラシ前車ハ左ニ避ケ後車ハ其ノ右側ヲ通過スヘキコト

十二 消防機械又ハ郵便用車馬若ハ軍隊其ノ他ノ隊伍及葬儀等ニ行逢ヒタルトキハ其ノ進行ニ障害ヲ與ヘサル様徐行シ又ハ停車シ若ハ避讓スヘキコト

十三 馬匹ニ近ツクトキハ速度ヲ緩メ恐怖セシメサル様注意スヘキコト但シ馬匹驚奔シ又ハ其ノ虞アルトキハ直ニ停車シ若ハ路傍ニ避クヘシ

#### 第四章 乗客ニ對スル規定

第二十六條 左ニ掲クル者ハ乗車スルコトヲ得ス

一 酩酊シタル者

二 八種傳染病又ハ同乗者ニ厭忌ノ感ヲ起サシムヘキ疾病アル者

三 同乗者ニ不快ヲ感セシムヘキ不潔ナル容裝ヲ爲シタル者

第二十七條 臭氣ヲ發散シ其ノ他他人ノ迷惑ト爲ルヘキ手荷物又ハ畜類等ヲ携帯スヘカラス

第二十八條 自動車進行中ニ昇降シ又ハ客席以外ニ乗り若ハ肢體ヲ車外ニ出スヘカラス

第二十九條 放歌、喧噪シ其ノ他他人ノ迷惑ト爲ルヘキ行爲ヲ爲スヘカラス

第三十條 第二十四條第十五號ノ規定ニ依リ乗車ヲ拒絕セラレタルトキハ即時降車スヘシ

#### 第五章 自家用自動車ニ對スル規定

第三十一條 自家乗用トシテ自動車ヲ使用セムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ警視廳ニ届出認可ヲ受クヘシ第二號乃至第四號ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ(イ)

一 使用者ノ住所、氏名、生年月日但シ法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者(代表者數人アルトキハ主トシテ責任ヲ負フヘキ者一)ノ住所、氏名、生年月日

二 車輛ノ重量、寸法及箇數

三 動力ノ種類

四 原動力機ノ名稱、馬力及其ノ他ノ重要事項

五 製造者ノ氏名及製造ノ年月日、古物ナレハ尙其ノ經歷

前項第一號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ三日以内ニ警視廳ニ届出ヘシ

第三十二條 自家乗用車ノ運轉者ハ幅員四間未滿(歩車道ノ設ケアル道路ニ在リテハ車道ノ幅員其ノ道路ヲ行進スヘカラス但シ特ニ所轄警察官署又ハ警察官吏ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ



在ラス

自家又ハ他人ノ家ニ出入スル爲他ニ四間以上ノ通路ナク已ムヲ得サル場合ニ於テハ三町以内ニ限り前項但書ノ承認ヲ受ケサルコトヲ得

第一項但書及第二項ニ依リ四間未満ノ道路ヲ行進スルトキハ音響器ヲ鳴ラシ特ニ徐行スヘシ  
第三十三條 自家乗用車又ハ自家用貨車ヲ自ラ運轉シ又ハ他人ヲシテ運轉セシムトスル者ハ其ノ運轉者ノ族籍、住所、氏名、生年月日及履歷書ヲ具シ警視廳ニ願出免許證ヲ受クヘシ  
前項ノ願出ニ付必要アリト認メタルトキハ試験ヲ行フコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ實地試験ノ爲使用者自身又ハ雇主ノ自動車ヲ運轉シテ警視廳ニ出頭セシムルノ要アルトキハ第十四條ノ二ヲ準用ス

第三十三條ノ二 第三十四條ノ二第二項第十四條ノ二第三項及第三十三條第二項ニ依リ自動車ノ運轉ニ從事スル者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

- 一 第二十四條第九號ノ事項
- 二 第二十五條、第一號、第三號乃至第七號第九號乃至第十三號ニ掲ケタル事項
- 三 他人ニ運轉ヲ委託スヘカラサルコト

四 運轉中喫煙スヘカラサルコト

五 運轉手臺ヲ離ル、トキハ不慮ノ災害、不時ノ發車及發動機ノ音響ヲ防クヘキ必要ナル注意ヲ爲スコト

第四條ノ二 第一項ニ依リ運轉ニ從事スル者ハ尙左ノ各號ヲ遵守スヘシ

- 一 運轉中ハ免許證ヲ携帶シ警察官吏ノ求メアルトキハ之ヲ示スヘキコト
- 二 認可ヲ受ケタル日時及道筋ノ外運轉ヲ爲スヘカラサルコト

第三十四條 警視廳ニ於テ必要アリト認メタルトキハ隨時自家乗用車ノ車體及之ニ附屬スル機械器具ヲ検査スルコトアルヘシ

前項ノ検査ニ合格セサルモノハ指定ノ日時内ニ検査證ヲ警視廳ニ返納スヘシ

第三十五條 削除

第三十六條 自家乗用車又ハ自家用貨車ニ關シテハ本則第七條第一項第一號乃至十二號(第十號ノ信號除ク)第二項、第八條ノ一、第八條ノ二、第八條ノ三、第十條、第十一條、第十五條、第十八條第二十條第三號乃至第六號、第二十一條、第二十二條、第二十三條第一項第三號第四號第二項第二十四條第一項第二項第二號乃至第四號第九號第十四號及第二十五條第一號乃至第七號



第九號乃至第十三號ヲ準用ス

自家用貨車ニ關シテハ前項ノ外仍第五條、第六條、第九條、第十三條、第二十條第二號及第二十五條第八號ヲ準用ス

#### 第六章 罰 則

第三十七條ノ一、第四條ノ二、第五條第八條ノ一第八條ノ三第二項、第九條、第十條第一項、第十一條、第十二條、第十四條第一項、第十四條ノ二第二項、第十六條乃至第二十一條、第二十二條第二項、第二十三條第二項、第二十四條乃至第三十一條、第三十二條第一項第三項、第三十三條第一項、第三十三條ノ二第三十四條第二項ニ違背シ又ハ第四條ノ三ニ該當スル者及第八條ノ二第十三條ノ命令ニ違背シ又ハ第三十三條第二項中第十四條ノ二第二項準用ノ規定ニ違背シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第三十六條第一項中第八條ノ一、第八條ノ三第二項、第十號第一項、第十一條、第十八條、第二十條第三號乃至第六號、第二十一條、第二十二條第二項、第二十三條第二項、第二十四條第一項第二項、第二號乃至第四號第九號第十四號、第二十五條第一號乃至第七號第九號乃至第十三號又ハ第二項中第五條、第九條、第二十條第二號、第二十五條第八號準用ノ規定ニ

違背シ又ハ第一項中第八條ノ二、第二項中第十三條ヲ準用シテ爲シタル命令ニ違背シタル者亦同シ

第三十七條ノ二、前條ニ規定シタル違背行爲ヲ教唆シ又ハ幫助シタル者ハ同條各項ニ照シ之ヲ罰ス但シ情狀ニ依リ其ノ刑ヲ免除スルコトヲ得

第三十八條、營業者又ハ自家用者自動車ノ使用者ニシテ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ業務又ハ其ノ使用ニ關シ適用スヘキ第三十七條ノ一ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス

營業者又ハ自家用自動車ノ使用者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務又ハ其ノ使用ニ關シ第三十七條ノ一ニ規定シタル違背行爲アリタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故、以テ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

營業者又ハ自家用自動車ノ使用者法人ナルトキ其ノ代表者、雇人其ノ他ノ從業者其ノ業務又ハ其ノ使用ニ關シ第三十七條ノ一ニ規定シタル違背行爲アリタルトキハ同條ノ罰則ヲ第五條第一項第一號又ハ第三十一條第一項第一號ノ代表者ニ適用ス

前二項ハ本則ノ規定ニ依リ特ニ車掌、運轉手又ハ自家用自動車ノ運轉者ヲ處罰スヘキ場合ニハ之ヲ適用セス



前四項ハ第四條ノ二ニ依リ自動車ノ運轉ヲ爲ス者ニ對シ之ヲ準用ス

第七章 附 則

本令ハ明治四十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年八月一日現在ノ自動車ニシテ第十八條第一項第二項ニ適合セサルモノハ同年八月

三十一日迄從來ノ車輛番號ヲ使用スルコトヲ得

明治四十五年八月一日現在ノ自動車ハ同年八月三十一日迄ノ間ニ於テ第七條第一項第十一號ノ

設備ヲ爲シ警視廳ノ検査ヲ受クヘシ此ノ検査ヲ受ケサルキ又ハ之ニ合格セサルトキハ検査證

ノ返納ヲ命スヘシ

前項ノ命令ニ違背シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

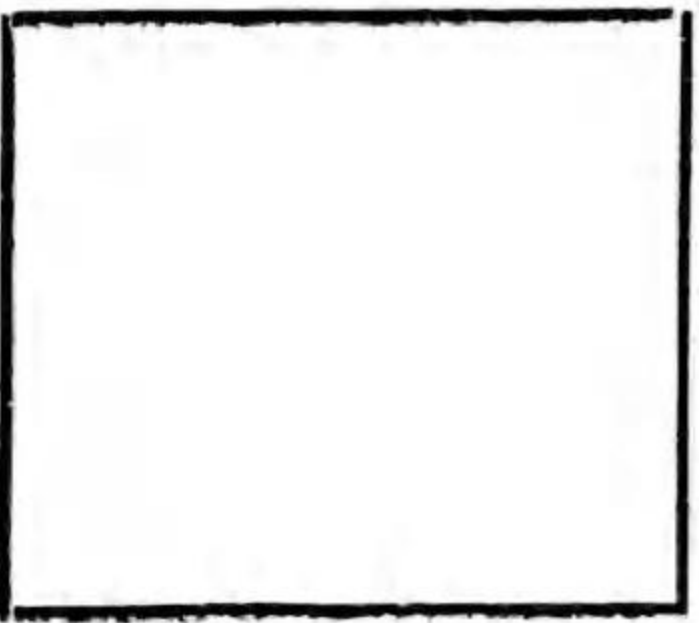
明治四十五年七月十六日

警視總監 安 樂 兼 道

大正六年十一月十五日印 刷  
大正六年十一月二十日發 行

自動車取締規則  
定價金 五 錢

不 許



複 製

發行者 山 本 愿 太  
東京市赤坂區溜池町卅二番地

印刷者 渡 邊 八 太 郎  
東京市牛込區榎町七番地

印刷所 日清印刷株式會社  
東京市牛込區榎町七番地

發行所

東京市赤坂區  
溜池町卅二番地

合資會社 極 東 書 院

振替口座東京三二九〇八番  
電話新橋一五五五番





終

